

サニーメイズ NEWS

2014年 2月

発行 株式会社サニーメイズ

TEL 054-365-5163

静岡県静岡市清水区横砂南町2-1

FAX 054-364-2578

トウモロコシの在庫について

単位100万ブッシェル

(2013年8月予測) 米国産 **13年/14年クropp** (2014年2月予測)

期初在庫	719	期初在庫	821
生産	13,763	生産	13,925
輸入	30	輸入	35
国内消費	11,450	国内消費	11,700
輸出	1,255	輸出	1,600
期末在庫	1,837	期末在庫	1,481
在庫率	14.5%	在庫率	11.1%

今後のトウモロコシ相場のポイント

強(上昇)材料

- ・ 堅調なエタノール需要
- ・ 輸出需要における、米国産への回帰
- ・ 輸出エレベーターの逼迫(特に大豆の影響)

弱(下降)材料

- ・ 潤沢な期末在庫
- ・ 中国での米国産の未承認 GMO コーン除外問題

(シカゴ相場下落も現物相場は堅調)

米国では史上最高の生産規模予測となり、シカゴ相場は下落した反面、農家の売り渋りや、輸出エレベーターの処理能力不足から、現物価格としては下がりにくい状況が続いています。堅調な大豆輸出等から、現状の輸出エレベーター設備で対応出来ず、FOB プレミアムの高騰を招いています。

米国での GMO 表示義務運動

以前2012年7月レポートで、米国カリフォルニア州で GMO 表示義務運動が高まる

記事をご紹介しておりました。(当時は僅差で否決されています。)

ここへ来て「何を原料としているのか、購買段階での知る権利」との主旨から、再燃している様です。

先のカリフォルニア州での投票を皮切りに、米国各地でも同様の運動が高まりました。(メイン州、コネチカット州、ワシントン州)

追加コスト増加や、イメージ低下を恐れる大手食品メーカー及び、GMO 種子メーカーが軸となり反対し、市民団体やオーガニックに特化した小規模食品メーカーが賛成の立場を取っています。ご参考までにカリフォルニア州とワシントン州での、両陣営の資金量及び、得票率を記してみました。

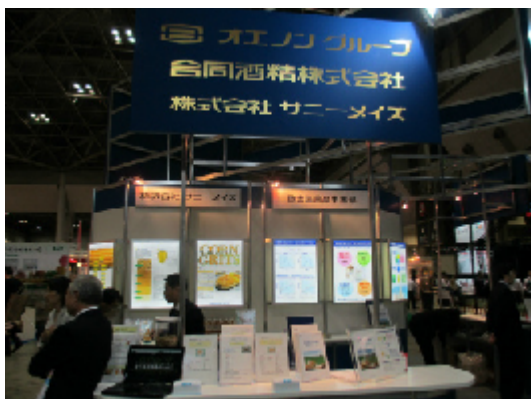
		資金量	得票率	結果
カリフォルニア州	賛成派	9.2 億円	47%	×
	反対派	46.0 億円	53%	○
ワシントン州	賛成派	6.8 億円	47%	×
	反対派	22.0 億円	53%	○

反対派は、GMO の安全性、表示義務となった場合のコスト上昇による市民の不利益を、テレビ CM や宣伝・講演活動でアピールしています。

活動資金の差に比べ、僅差での否決となった事が判ります。米国消費者の知る権利はもう少し時間が掛かるとはいえ、いずれ法制化されるのではと見る向きが多いです。

FABEX (中食・外食産業の業務用展示会)

本年 4 月 2 日(水)~4 日(金)の 3 日間、東京ビッグサイトで、中食・外食産業の業務用専門展示会「ファベックス」が開催されます。



写真は昨年の展示風景です。

サニーメイズでは、グループ会社の合同酒精との協働で出展致します。トウモロコシ粉を使った食品を、レシピを交えてご紹介致しますので、機会がありましたら是非お立ち寄り下さい。